

初夏の花と緑に会いに秋田の名山2座へ
秋田駒ヶ岳～乳頭山(烏帽子岳)

実施日 2018年7月7日(土)～8日(日)
天候 雨/曇り
リーダー 峯川 弘子
参加者 遠井謙策・伊藤久雄・濱田優美子・児玉章・宮崎敏男・佐藤聡美・山田千恵子・峯川弘子 計8名
費用 こまち(割)23,114円 東京駅
起算(往復) 1,030円 ジャン
ポ & 温泉2,200円
タイム 1日目 田沢湖駅(10:05)八合目避難小屋(11:15)昼食(12:40)阿弥陀小屋(14:00) 泊
2日目 阿弥陀池小屋(5:45)男女岳往復(6:25)阿弥陀池小屋(6:45)男岳分岐～ムーミン谷～(8:30)横岳分岐(9:15)横岳(9:40)阿弥陀池小屋(11:10)八合目避難小屋(11:15)アルパこまくさ(11:45) 温泉(12:15)黒湯(15:00)田沢湖駅(15:40)

西日本では集中豪雨、雨雲は東北に接近、土曜日の天気はころころ変わる、大雨なら乳頭山縦走は諦め、秋田駒と温泉観光でいかがでしょう？と能天気なLはメンバーに参加意思を確認し豪雨で電車が止まった静岡県からバスで脱出、8人が田沢湖駅で合流した。

車で八合目小屋に到着したが予報どおり雨、風はない、明日の予報は曇りなので乳頭山まで縦走できるなら阿弥陀池小屋へ、秋田弁の管理人さんによると今花はあすごいよ、阿弥陀池ならあここに泊まった方が快適だあよ～、とりあえず明日朝の天気予報で決めることにし、雨具を着込んで後ろ髪引かれながら出発した。歩いている最中、乳頭山、ムーミン谷、乳頭山、

ムーミン谷、頭の中はぐるぐる。普段使っていない思考脳を動かすが？ま、いっか、明日の天気次第で～、ぜんぜん危機管理



ないL <(_ _)> 水たまりの登山道を歩き始めるとガスも出てきた、1時間ほどで阿弥陀池小屋に到着、雨のムーミン谷もいいけれどガスが出ると行ってもしょうがない、今日はここで今から大宴会、なんと宮崎さんが用意してくれた鍋の材料を男性陣が女性陣には内緒で背負って来てくれた！(あざーっす！！)

ひんやりした体にはとてもありがたい、みんな大喜びで肉団子、もやし、ウィンナー鍋をつつつきながら明日は乳頭山は諦めてムーミン谷～横岳まで周回することに決定、4時間以上の大宴会後、就寝。



夜中にすごい風と雨の音で眼が覚める、明日はこのまま下山としても暴風雨の中約1時間、注意して歩くしかない、やはり中止すべきだったか？眠れな～い、起きたら朝の4時!? すみません、爆睡しました<(_ _)>



雨はやんでいようだ、ガスもない風もない、念のためレインウェアだけ着こん

で空身で男女岳の山頂へ、秋田駒最高峰立ったぞー！

雨上がりで眺望はない、これから回復しそうな天気がうれしくて気が付くとみんなEXILEばりのポーズで(笑)写真をパチリ、小屋にザックをデポしサブザックでムーミン谷へ向かう。



阿弥陀池過ぎたあたりから花がチラホラ、男岳分岐、ムーミン谷への急降下から

花の競演の始まり～、降り切った先は、

花、花、花！満開のチングルマとイワカガミの大群生、歩いても歩いても広大なチ



ングルマとイワカガミ、花、花、花、すご過ぎー！！全員大興奮で写真撮りまくり、歩行停止、離れる、歩行停止、離れる、後が来ない、パーティ分裂か(笑)乳頭山へは行けなかったし、ここが今回の核心部？時間も余裕あるし、しょうがないか～、ねえ、ムーミン？

1時間45分かけて横岳分岐へ、ここから横岳までは大焼砂という火山によくある風景、砂の登山道の両側は女王コマクサの群生地、ここも楽しみにしていたけれど満開には早く花芽の状態でした。



横岳山頂から乳頭山分岐を眺め小屋に戻ると回復した天気で大勢の

グループが盛り上がっている、八合目小屋への下山道では続々と上がってくる登山者とすれ違いながら、たぶん雨で良かったと

思う、小屋もムーミン谷もこぶし会だけ、人のいない雨上がりの幻想的な風景を見ることができたから。

☆今回出会った花たち by toi

- ・チングルマ・ショウジョウバカマ・コマクサ・コバイケイソウ・ネバリノギラン・ホテイアオイ・エゾツツジ・ヤマザクラ・イワカガミ・タカネスミレ・ヒナザクラ・ウサギギク・アカモノ・ニッコウキスゲ・ハクサンチドリ・ミヤマダイコンソウ・キバナノコマノツメ・モミジカラマツ・ヤマハハコ・オノエラン・ハクサンシャジン・ミヤマハンショウヅル・トウゲブキ・エゾニュウ・ハクサンシャクナゲ・ミヤマウスユキソウ・ムシトリスミレ・サンカヨウ・イワブクロ・アオノツガザクラ・タニウツギ・ゴゼンタチバナ・コメツガ・カライトソウ・ウラジロヨウラク

その他名前不明の花々。。。
(記&写真・峯川 弘子)
(写真提供・宮崎 敏男)

